

ゆいのき ミニ

速報版 17

R3.8.31

室田和宏

学校はまちがえるところ！

～失敗と書いて成長（せいちょう）と読む～

夏休み明け、元気な声が戻ってきました。緊急事態宣言下ということで、不安な気持ちも大きいかと思いますが、もしかすると子どもたちにとっては「待ちに待った…学校生活」ではないのかもしれませんが、「やっぱりみんなと会えると楽しいな」と思えるような1学期後半のスタートになるよう、職員一同、力を合わせてコロナ禍を乗り切っていく決意を新たにしています。

この夏休み、城山小からなんと「日本一」が生まれました。6年生の若山愛佳さんが本県代表選手として出場していた、女子学童野球の全国大会「NPBガールズトーナメント2021」で、所属する「栃木スーパーガールズ」が見事優勝を飾りました。若山さんは延長戦にまでもつれ込んだ決勝戦ではピッチャーとして抑えの役割を果たし、最終回には同点スクイズを決めて逆転サヨナラの足掛かりを作るなど、大活躍だったようです。おめでとうございます！

始まりの朝会では、若山さんの活躍にちなんで、野球人の名言を紹介しました。楽天イーグルス等で監督を務めた野村克也さんの「失敗と書いてせいちょう（成長）と読む」。「失敗をした時はとてもつらいが、それが必ずのちの成長につながる。」だから「新しいアイデアが浮かんだら、失敗を恐れずにチャレンジし、粘り強く堪えていこう。」と。子どもたちには「学校はまちがえるところ」と伝えました。日々の授業では常に新しいことを学ぶわけですから、失敗やまちがいがあるのは当たり前です。「課題から目をそらさずに自分事としてとらえ、他人任せにせず自分なりの考えと勇気を持って主体的に関わっていく。」ことができるよう、学校スタッフみんなで支え背中を押していきたいと思います。

夏休みの半ばを過ぎたころ、クロームブックで“みんなの広場＞ストリーム”というところに「**なつやすみアンケート**」を掲載してみました。62名の児童が、気付いて回答してくれました。「答えようと思ったら締め切られていたのですが大丈夫ですか？」と声をかけてくれた子もいました。まだまだ実験段階ですから、上手く答えられなかったとしても大丈夫です。励ましのコメント、とてもうれしい気持ちになりました。少し紹介します。

//コロナでお出かけできないので早く学校に行きたいです/毎日元気に過ごしています。先生は、お元気ですか？
/夏休み、楽しいです。幸せ！/規則正しく夏休みを過ごしています/コロナが増えてきました先生方も気をつけて下さい/お元気ですか。晴れの日や雨の日がいろいろあって大変ですね。先生たちもがんばって下さい。/先生お元気ですか。登校日が楽しみです。/算数がんばります。/学校が楽しみです。/なしのてつたいをがんばっています。/とても良い夏休みが続いています僕は元気です/お仕事頑張ってください/卓球とく？ ホテル行った？/宿題の読書感想文が、とってもうまく書けました！ 残りの宿題もがんばります！/ミルクの国のポスターを書きました。/勉強を少し難しくして下さい。今年の夏は、あまり楽しいことがありません/夏休み一週間目ぐらいから皆に会いたくなりました。最高学年なので夏休みが終わったら残りの学校生活をたくさん楽しみたいです！//

ゆいのき

三二

速報版 18

R3.9.6

室田和宏

自分にはよいところがありますか？

自分にはよいところがありますか？私たちは断言できます。“城央小の皆さんには全員、よいところが「あります」”。自分ではなかなか気づけないことも多いので、周囲の大人が、ひとつひとつの行いを見届け、丁寧に価値づけしていくことが肝要になってくるのだと思います。

さて、全国学力テスト、とちぎっ子学習状況調査の結果が届きました。4～6年生には個票が配られたと思います。自分の学習の成果や課題を確認し、今後に役立てていくことが最も大切です。学校でも、授業改善や生活の指導等に役立てるべく、結果を細かく分析をしているところです。今後の方策も含めて、準備が整い次第ホームページに公開いたしますので参考になさってください。

調査では同時にアンケートも実施されています。全国調査（6年生対象）のアンケートについて、下野新聞に次のような見出しを見つけました。“「学校楽しい」減少顕著「コロナでの行動制限が影響していることも要因の一つか」”。本校の子どもたちはどうなのか、保護者の皆様にとっても気になるところかと思えます。参考に本校6年生のデータ（肯定的回答の割合）をいくつか紹介します。全体的に良好な結果が見られます。

Q:学校に行くのは楽しいと思いますか **全国83.4%** **城央小94.4%** ↑

Q:将来の夢や目標を持っていますか **全国80.2%** **城央小88.9%** ↑

Q:自分には、よいところがあると思いますか **全国76.9%** **城央小86.1%** ↑

Q:地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか **全国52.4%** **城央小83.3%** ↑

“まごころ日本一”に向かう心が育っている様子がうかがえ、うれしく感じます。こんな上級生の背中を、後輩たちみんなが追いかけて、育っていくのです。頼もしい限りです。一方、平均スコアを下回っている項目も、少ないのですがいくつか見られます。

Q:自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか **全国84.3%** **城央小77.7%** ↓

Q:授業以外で、1日当たりどれくらい読書をしますか(30分以上) **全国37.4%** **城央小25.1%** ↓
今後の指導の参考にしていきたいと思います。

業間休み、グラウンドを歩いていると1年生の女の子が近よってきて「校長先生、わたし学校好きになった！」と言ってくれました。夏休み前、どうも学校が好きになれなくて、慣れるのにとても時間がかかっていましたので、とてもうれしくなりました。学校生活は楽しいことばかりではないので、山あり谷ありの長い道のりですが、“こんな言葉がたくさん聞ける学校にしていきたい”と、改めて思いました。今年も優しい上級生の声掛け、お手伝いがとても光っています。本校の伝統と言ってもよいでしょう。勇気づけられ、力をもらっている下級生は少なくありません。「わたしも、こんなことがあったから」なんてさりげなく寄り添う姿は、きっとご家庭での教え、保護者の皆様の温かさがそのまま投影されているような気がします。コロナ禍、思うようにいかないことは多いですが、全職員で力を合わせて“460のまごころ”を、じっくりと、大きく、育んでまいります。

下校時の自動車の制限にご協力いただきありがとうございます。校門付近での危険が、一気に解消され、安心して下校指導が行えています。お困りの時は、学校までお問い合わせください。

ゆいのき ミニ

40分授業だからチャレンジしてほしいこと



緊急事態宣言の延長で、下校時刻の前倒しと40分授業の特別日課がもうしばらく続くことになりました。業間の休み時間、校庭を走り回る姿を見ていると、「ここで頭をリセットして、次の授業を頑張れるんだろうなあ。」と感じます。夏休み明けの特別な日課の中で、子どもたちはとてもよく適応することができています。教職員も上手く時間をマネジメントし、落ち着いて生活できるよう心を配る、夏休み明けの2週間が過ぎました。さらに延長になるため、

朝の放送でこう話しました。「今週の生活目標は“時間を守って1日の生活をしよう”でした。皆さんは慣れない日課にもかかわらず、とても落ち着いて学習に取り組め素晴らしいです。もう少し特別日課が続くことになりました。45分の計画を40分で行うために、先生たちは工夫をしています。皆さんも協力してくださいね。“問題を急いで解きましょう”ということではありません。“無駄な時間をつくらず集中して取り組もう”ということです。今の生活、見方を変えると、実は普段の学習内容を1日に30分も短い時間でマスターしているということになるのです。せっかくの機会ですから、“無駄な時間をつくらず集中して、自由な時間を生み出す練習”にチャレンジしましょう。そして読書なり、趣味なり、自分なりの時間の使い方ができるようになりましょう。」



“あいさつ”は永遠のアイテム

あわせて、挨拶の話をしました。「“おはようございます”の音がだんだん大きくなってきました。校長先生は、なぜ何度も繰り返して“明るく元気な挨拶を！”っていうと思う？挨拶は、これからみなさんが生きていく上でずーっと役に立つ、“永遠のアイテム”だからです。一度身に付けてしまえば、永遠です。城央小で元気な挨拶を身に付けましょう。」ご家庭ではどうでしょう。「おはよう、いただきます、行ってきます」言えていますか。繰り返し声をかけ、“永遠のアイテム”を身に付けさせましょう。“あいさつ”が、真の“460じまん”になるように。

6年生のふれあい文化教室の講師の皆さんが、「コロナ禍で久しぶりだったせいか、本当に今日は楽しかった。子どもたちは上達が早いし、何ととっても元気をもらえる」と。本心だと思います。子どもたちの挨拶や、まごころのこもった言葉の一つ一つは、周囲に“元気をあたえることのできる”アイテムでもあるのです。オリンピックで「賛否両論ですが・・・少しでも心を動かすことができたならうれしいです。」こんなコメントを、たくさんのアスリートから聞きました。その大きさはメダリストには及ばないかもしれませんが、みんなの“あいさつ”は人の心を動かしているのです。早く気付いてほしいと願っています。



ゆいのき ミニ

グリーンサポーターさんありがとうございます！



いつも学校の花壇をきれいにしてくださっている魅力協のグリーンサポーターさん。15日には夏の間に大きく伸びてしまった雑草をきれいにさせていただきました。抜いた雑草はリヤカーにいっぱいになるほどでした。夏休み前に植えていただいたマリーゴールドとニチニチソウも株を大きくし、私たちを楽しませてくれています。今回活動して下さったのは、写真左から、さん

さん（おふたりはまごころサポーターとしても活動して下さい、毎朝学校まで子どもたちを

見守ってくださっています）、さん、連絡調整をいただいているさん、

さんの5名です。他にも日常的にまごころサポーターのさん、さん、さんが協力して下さっています。城山小は地域の皆様の“まごころ”に支えられています。

“〇〇したいな～ポスト” (PTAより)

「今はがまんしているけれど、今はできないけれど、コロナが終わったらみなさんがやりたいこと、楽しみにしていることはありますか？教えてくださいね」ということで、PTA執行部が中心となり“〇〇したいな～ポスト”を設置して下さいました。「先が見えない“がまん”の生活を頑張っている子どもたちの気持ちに寄り添いたい。」そんな思いが詰まっているのを感じます。どんな声が届くのか今から楽しみです。私はやっぱり・・・・・・でしょうか。



“学びを止めない” 授業研究会



3年生が授業を提供し、授業研究を行いました。社会科「店ではたらく人の仕事」の授業です。ひとりひとりが集めてきた「買い物調べ」の情報をグループごとにシートにまとめていきます。同じシートに複数名で同時に書き込むことができるのでとても便利です。コメントもAIが集約して全体の傾向をまとめてくれます。GIGA構想は急ピッチですから、“できることからチャレンジし、みんなで広く共有する”を合言葉に、私たち教職員も、日々奮闘中です。